

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831
 ホームページアドレス <http://www.hokotashakyō.or.jp>



子育て応援プロジェクト事業 ~歌う海賊団ッ! ファミリーコンサート~



2月14日(土) 大洋公民館において、子育て応援プロジェクト事業を開催しました。

第1部ではファミリーサポートセンター事業の活動発表、第2部では“歌う海賊団ッ！ファミリーコンサート”が行われ、約200名の親子が参加し楽しい時間を過ごしました。

目 次

- P2 平成27年度社協事業計画
平成27年度社協収支予算
- P3 社会福祉協議会が取り組む
主な活動内容
- P4 ファミリーサポートセンター事業
介護用品支給事業
- P5 トピックス
・グラウンドゴルフ大会
・ふれあい電話事業
・元気教室事業
- P6/7 福祉の「め」
- P8 ボランティア紹介：さくらクラブ
交通安全教室&交流会
- P9 お知らせ／善意銀行
・心配ごと相談所
・高齢者いきいきスポーツ大会
- P10 保育所(園)・幼稚園児の作品
手と手をつなぐ地域づくり
寄居区敬老会



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

❖平成27年度 銚田市社会福祉協議会事業計画❖

基本方針

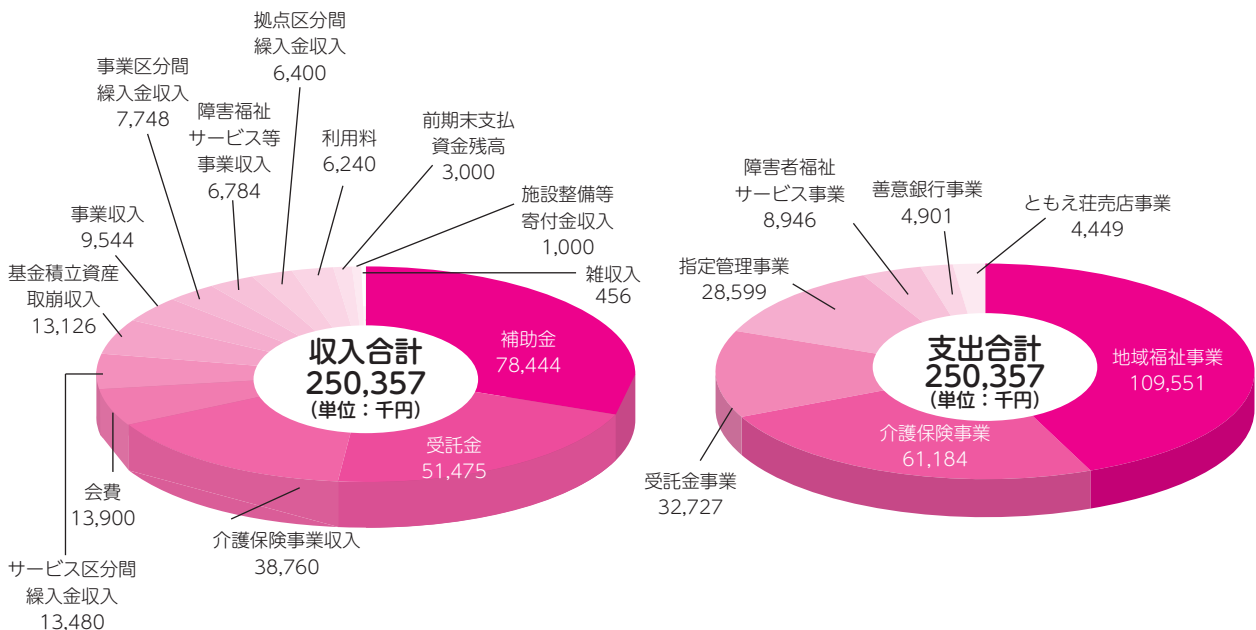
本会は、地域福祉を推進する団体として、第2次銚田市地域福祉活動計画（平成26年度～平成30年度）を策定し、地域の中で市民一人ひとりが安心して暮らすことができるよう各種施策に取り組んでおります。特に、団塊の世代が65歳を迎える平成27年度（2015年）は、銚田市の高齢率は29.8%、10年後の平成37年度（2025年）は34.9%を迎える見込みです。このような社会動向をふまえ、高齢者施策や障害者施策、低所得世帯施策を基本として以下の事業に取り組んでまいります。

重点施策

- (1) 小地域推進モデル地区の指定及び推進（地域の拠点づくり）を図ります。
- (2) 老人福祉センターともえ荘の有効活用（介護予防事業等の充実）を図ります。
- (3) 居宅介護事業所の合理化（組織の見直し）を図ります。

- 基本目標 1** 気づく→地域や健康、福祉について一人ひとりが考える機会を確保する。
- 基本目標 2** 育てる→地域で活動する人材や組織を育成する。
- 基本目標 3** つなげる→地域での相互交流の活用化を図る。
- 基本目標 4** 支え合う→適切なサービス利用促進を図る。

❖平成27年度 銚田市社会福祉協議会予算❖



社会福祉協議会が取り組む主な活動内容

周知・啓発事業

- 社協だよりの発行
- ホームページの運営
- 福祉講演会事業
(地域づくりフォーラム)

自主財源の確保

- 会員加入の促進
- 赤い羽根共同募金運動
- 善意銀行の運営



ボランティアの育成と推進事業

- ボランティアスキルアップ講座
- ボランティア専門講座
- ボランティア活動校助成事業
- 福祉体験支援事業



児童福祉推進事業

- 福祉作文コンクール事業
- 子育て応援プロジェクト事業
- ウェルフェアサマースクール事業
- 星空映画会事業
- ファミリーサポートセンター事業



高齢者福祉推進事業

- ひとり暮らし高齢者サロン事業
- 高齢者の健康づくり推進事業
- ふれあいいきいきサロン事業



障害者（児童）福祉推進事業

- スマイルフェスティバル事業
- 日常生活自立支援事業
- 福祉車両貸出事業
- 地域活動支援センター「のぞみ」
「スマイルハウス」運営



ひとり親世帯等支援事業

- 新入学児童祝金事業

低所得者福祉推進事業

- 緊急食料貸付支援事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 緊急入院時用具貸与事業

地域・在宅福祉推進事業

- 心配ごと相談事業
- 日常生活自立支援事業
- 地域福祉推進費助成事業
- 備品等貸出事業

居宅介護事業

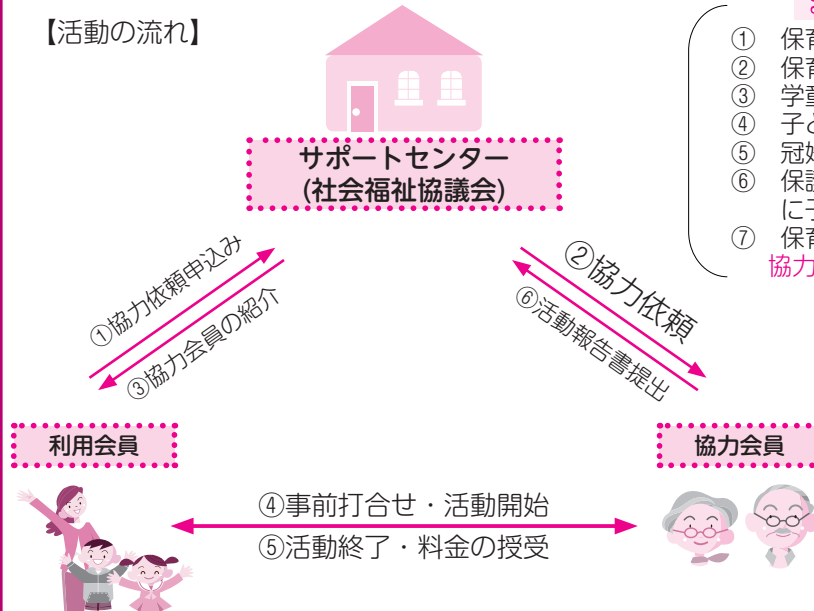
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 特定相談支援事業



銚田市ファミリーサポートセンター

銚田市ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けが出来る方（協力会員）と子育ての手助けをして欲しい方（利用会員）が会員となり、お互いに助け合って活動する相互援助組織のセンターです。実施主体は銚田市、運営は社会福祉協議会が行っています。

【活動の流れ】



援助活動の内容

- ① 保育施設等の送迎
 - ② 保育施設への送迎及びその後の預かり
 - ③ 学童保育等からの帰宅後の援助
 - ④ 子どもの病気（軽度）時の援助
 - ⑤ 冠婚葬祭等外出時の子どものお預かり
 - ⑥ 保護者の育児ストレス軽減や自己啓発の為に子どもを預かること
 - ⑦ 保育園等の休園日等の援助
- 協力会員宅での援助が原則となります。

利用日・時間	利用料金
基本活動日 月曜日～金曜日 午前7時～午後7時 1時間当たり	700円
基本活動日外 (年未年始は除く) 土・日・祝日 早朝・夜間	1時間当たり 800円

利用会員ってどういう人？

◎市内に居住又は勤務し、生後6ヶ月から概ね中学校就学前までのお子様を持つ方。

協力会員ってどういう人？

◎市内に居住し、心身ともに健康で地域の子育に関心のある（20歳以上概ね65歳未満）方。

随時会員募集を行っています。また登録料は無料です。

介護用品支給事業

高齢者などの身体の衛生、清潔の保持及び介護者の経済的負担を軽減することを目的とし事業を実施しております。なお、この事業は市支給分と社協支給分の2本立てで実施しています。

対 象 者	銚田市に住所を有し、対象者が属する世帯の構成員全てが前年度住民税年額5万円以下で、下記のいずれかに該当する方。(生活保護世帯は除く。)	
	市 支 給 分	社 協 支 給 分
対 象 者	1. 介護保険制度の要介護認定において、要介護4以上と認定され、かつ、常時おむつを必要とする在宅の満65歳以上を介護する方または特定疾病に該当する在宅の満40歳以上65歳未満を介護する方 2. 体幹機能障害2級以上又は下肢機能障害2級以上により身体障害者手帳の認定を受けた、常時おむつを必要とする在宅の満65歳以上を介護する方	1. 介護保険制度の要介護認定において、要支援1以上と認定された、満65歳以上の在宅者で、かつ、常時失禁状態にある方。 2. 介護保険制度の特定疾病による要介護認定において、要支援1以上と認定された、満60歳以上65歳未満の在宅者で、かつ、常時失禁状態にある方。 3. 体幹機能障害又は下肢機能障害により身体障害者手帳3級以上と認定された、満60歳以上65歳未満の在宅者で、かつ、常時失禁状態にある方。
支 給 金 額 (クーポン券)	3,000円/月 (上記1又は2の方) 6,000円/月 (住民税非課税世帯であって上記1の方)	1,000円/月
支 給 対 象 品 目	1. 紙おむつ 2. 尿取りパッド 3. 使い捨て手袋 4. 清拭剤 5. 介護用品	
取 扱 事 業 者	市内介護用品支給券取扱事業者	

※申請後、身体状況や世帯状況により支給額が決定されます。上記支給金額は、介護用品支給券（クーポン券）として四半期毎に支給されます。
なお、支給券の配付につきましては、民生委員のご協力を得て該当者に配布しています。

トピックス

●● グラウンドゴルフ大会開催

2月27日(金)銚田市総合公園においてグラウンドゴルフ大会が開催されました。(主催 銚田市高齢者クラブ連合会、後援 銚田市社協、銚田市内郵便局)

大会には、会員157名が参加し、3ラウンド計18ホールでスコアを競い合いました。上位入賞者は、以下の通りです。(敬称略)

- 優勝 笠原 治典(交友会:大洋地区)
- 準優勝 徳永 洋一(OKシニア:旭地区)
- 第三位 菅谷寿雅子(日の丸老人クラブ:大洋地区)
- 第四位 田口 勇(濁沢老人クラブ:大洋地区)
- 第五位 箕輪 昭(汲上老人クラブ:大洋地区)
- 第六位 戸成喜久男(青山老人クラブ:銚田地区)



●● ふれあい電話事業

ひとり暮らし高齢者(希望者)の方へ、傾聴ボランティアの方々が定期的に電話をかけて、安否の確認などを行っています。ふれあい電話の利用を希望する方は社協または地域の民生委員までお申込みください。



●● 元気教室事業

65歳以上の高齢者が介護予防の一環として参加している事業です。

月2回のわずかな時間ですが、シルバーリハビリ体操やレクリエーションなどを行い、いつまでも元気に過ごしていけるよう、参加者同士仲よく、そして元気に活動しています。



(銚田地区)



(大洋地区)



(旭地区)



このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

福祉の「め」

福祉体験を通して



青柳小 5年 小 島 佑 太

ぼくは、総合的な学習で福祉体験と福祉施設訪問を経験して福祉や障害者・お年寄りに対する気持ちが変わりました。

これまで福祉は、障害者やお年寄りの手助けをする仕事だと思っていました。でも、福祉の勉強をしたら、福祉は、障害者やお年寄りを「幸せ」にする仕事だと知って、とても興味をもちました。

ぼくは、障害のある方を見かけたことが何回かあります。そのときは、何かしたいと思って、どうしていいかわからず助けることができませんでした。でも、車いす体験とアイマスク体験をしてみても、目や耳、足など体の不自由な人は、介助してくれる人がいないととても大変だということがわかりました。障害のある方を手助けする方法を知ったので、次に見かけたときは、「何かお手伝いすることはありますか。」と、言葉かけをして、手助けできるようにがんばりたいと思います。

次に、お年寄りに対する気持ちです。ぼくには祖父と祖母がいます。普段はとても元気で、畑仕事をしています。でも、ときどきげがや疲れが出て、どちらかが休む事がある

ります。そのときは、元気な方が二人がんばって働いています。そんな祖父母に優しくしたり、できるだけお手伝いをしたりしようと思ったのは、福祉施設を訪問してからのことでした。

福祉施設には、お年寄りの方がたくさんいて、一緒に体操やゲームをしたり、ぼくたちの歌を聞いてもらったりしました。施設のみなさんがずっと笑顔で楽しんでいる様子を見て、みんなで話をしたり触れ合ったりする普通の生活が一番幸せなんだとわかりました。



ぼくの兄



野友小 5年 堀 田 智 哉

ぼくの兄は、耳が不自由です。また、耳が不自由なので話すこともうまくできません。そのため、他の人と話し合いをすることがむずかしいことがあります。

でも、ぼくや母、父だけでは、うまく話すことができません。それでも、時々話がうまく伝わらないことがあります。そんな時、ぼくは、「お兄ちゃん、話が聞こえず、話すこともできなくてつらいだろうな。」と、思うことがあります。ところが、兄はいつも明るくたのしいのです。兄がこんなにたくましいのは、次の三つの理由からだと思っています。

一つ目は、手話を通して自分の気持ちを伝えているからだと思っています。手話のできる人とは、自分の伝えたいことを自由に話すことができます。手話を通して、例えば、みんながふだん使っている文字や言葉や数字を指の形で表すことができます。

二つ目は、兄がろうつ学校で多くのことを学んでいるからだと思っています。ろうつ学校は、耳の不自由な友だちが勉強している学校です。兄は毎日学校で、生活するために耳が不自由でもこまらないように、いろいろな事を学んでいます。

三つ目は、補聴器です。補聴器のつくりは、くわしくはわからないけれど、ぼくの兄は頭に磁石を入れて、補聴器を耳にかけています。それなので、ぼく達の話すことが、ほとんどわかります。

ぼくは、兄が耳が不自由だからこそ気づけたことがあります。兄の存在がなければ、

もし障害のある人を見かけても、多分何とも思わずに過ぎていたでしょう。でも、兄の気持ちに接することで、いろいろな人達を助けたいという気持ちが生まれたように思います。

福祉体験を通して



小野 未 桜
5年 串挽岡

私は、総合的な学習の時間で、介護老人保健施設「春の場所」へ行きました。「福祉とは何か」と考えながら、お年寄りと仲良くできるか不安でした。

施設に行くと、ほとんどの方が体が不自由で、車椅子を使っていました。そして、やさしい笑顔であたたかく私たちを迎えてくれました。私は、

「こうしてみんなが笑顔で生活していけたらいいな。」と思いました。

そして、みなさんに喜んでもらえるよう、リコーダー演奏と肩もみを精一杯行いました。その時の真剣に聞く表情と、「気持ちいい。」の一言に思いやりを感じ、「やってよかった。」と思いました。その時は緊張してほとんど話すことができなかつたけれど、こころがふれあえた瞬間として、とても印象に残りました。

その後、車椅子体験とインスタントシニア体験を通して、お年寄りの大変さを学んだ後、二回目の訪問をしました。今度は、「春の場所」のみなさんとの思い出を残すために共同作業ではり絵を作りました。手をとりながら、はる場所を相談し、協力して活動することができました。お年寄りの方も、精一杯体を伸ばして頑張ってくれました。完成した時には、みんなで拍手をし、いつの間にか友達のように

なっていました。

この体験を通して、相手のことを考え、思いやりの気持ちをもち行動することの大切さを知りました。そして、その思いやりをお互いに感じ合うことで、やさしく、仲良くなれると思いました。これから、相手の思いを感じながら、「自分にできることはないか。」と問いかけ、誰に対しても進んで手を差し伸べられる人になりたいと思います。

福祉について



西小 祐 季
6年 白鳥方波見

私は、総合的な学習の時間に、福祉について学びました。その中で車いす体験やアイマスク体験をして、目や体の不

自由な人はどのように生活しているのかを考えることができました。

アイマスク体験では、目の前が真っ暗で人につかまっていなくても不安になりました。白杖を使って前が安全かどうかを確認することができましたが、途中から階段を降りることが怖くなってしまい不安でいっぱいになりました。そんな時に友達が、「危ないよ。」「気を付けてね。」などと優しく声をかけてくれました。不安な時に人がいてくれるとこんなに安心できるかが体験を通して感じることができました。

車いす体験では、今まで車いすに乗ったり、おしたりしたことがなかったのもとても緊張しました。一番大変だったのは、車いすを階段から下ろしたり、上げたりする時です。思っていた以上に不安定でとても力がいりました。自分が乗る側になると階段がとても怖く感じました。

今回の体験を通して、目や体の不自由な人は不安な気持ちになったりして、大変なことがたくさんあるということが改めて感じました。

私は、たまに白杖を使って歩いている人をみかけます。今までは、声をかける努力をしませんでした。でも、これからは声をかけ、何かお手伝いできたらいいなと思います。

学習をする前は、福祉って何だろう、私たちにできることって何だろうと、福祉はどんなことがよく分かりませんでした。でも、今の私の考えは違います。ふだんのくらしをしあわせにするために、自分ができることを考え、勇気を出して行動できるようになろうと思います。そして、これから、目の不自由な人やお年寄り、すべての人がすみやすい鎌田市にしたいです。

ボランティア紹介

さくらクラブ

新幹田駅

花いっぱい運動

当クラブは、平成十三年四月に環境美化と社協行事への協力を主な活動として発足し、現在十一名の会員で活動しています。



市の玄関口である新幹田駅の景観を良くするため、平成六年から十二年まで「ほこたハイキングクラブ」が駅前にプランター花壇を設置し花いっぱい運動を展開していま

した。

その後を引き受け「私達の街は私達の手できれいな街に」を合言葉に駅前のプランター花壇に、夏から秋花壇にはサルビア・マリーゴールドなどの草花、冬から春花壇にはパンジーなどを定植し四季を通じて花を絶やさないよう美化に努めております。

四月にはサルビア・マリーゴールドなどの種子をビニールハウス内にまき毎日水かけ等の管理をし、五月に全員で仮植をし苗を育て、六月末に定植します。定植後は十月まで「水かけ当番」を決め毎日交替で管理をしております。

新幹田駅は、一日約二六〇〇人の乗降客があり、特に朝夕は通勤・通学客で大変賑わいます。忙しく行き交う人達の心を咲き誇る草花で少しでも和ませることが出来ればと願っています。

代表 石崎 巖

ボランティア活動センター事業

交通安全教室&交流会

三月二日(月)安全行動と安全意識の向上を図る事を目的に、銚田警察署交通課長を講師に迎え登録ボランティア四十三名が交通安全について学びました。



講座終了後、交流会へと移り、各グループ及び個人ボランティアより現在の活動について発表をしました。会食を兼ねた交流会にボランティア会員同士、和やかに意見交換や情報交換をすることが出来ました。



このように全体のボランティア活動内容について、情報発信のできる場を作っていたらと思います。

ボランティア活動保険に加入しましょう!!

社協では、ボランティア活動保険の加入に対し助成をしております。ボランティア活動保険は、ボランティア活動中のケガなどを補償する保険で、ボランティア登録されている方に加入をお勧めしています。

加入プラン

- ◆Aプラン 300円 ◆Bプラン450円
- 例：Aプラン 300円
- (内 個人負担：100円 助成金額：200円)

加入プランや加入助成については、お気軽に社協までお問い合わせください。

お知らせ

●●● 心配ごと相談所を開設しています ●●●

平成27年度 銚田市心配ごと相談所日程表

地区	銚田地区	旭地区	大洋地区
開催場所	銚田中央公民館	学習等共用施設	大洋公民館
相談日 (第3木曜日)	4月16日(木)	5月21日(木)	6月18日(木)
	7月16日(木)	8月20日(木)	9月17日(木)
	10月15日(木)	11月19日(木)	12月17日(木)
	1月21日(木)	2月18日(木)	3月17日(木)
予約先及び お問い合わせ先	社協 銚田本所 ☎0291-32-5831	社協 旭支所 ☎0291-37-3571	社協 大洋支所 ☎0291-34-5200

※弁護士による無料法律相談です。相談時間は、午前10時45分～午後3時00分です。

※定員13名になり次第締め切りとさせていただきます。

銚田市高齢者いきいきスポーツ大会

- 参加資格 居住地区大会で、60歳以上の健康な方
- 参加費 200円

●旭地区大会●

申込先 市社会福祉協議会旭支所 (37-3571)
 種目 輪投げ・クロッケー・グラウンドゴルフ
 開催期日 5月13日(水) 9:00～
 場所 旭スポーツセンター
 種目 ペタンク
 申込期日 5月15日(金)
 開催期日 5月27日(水) 9:00～
 場所 旭スポーツセンター
 申込期日 5月7日(木)

●銚田地区大会●

申込先 市社会福祉協議会銚田本所 (32-5831)
 種目 輪投げ・クロッケー・ゲートボール・ペタンク・グラウンドゴルフ
 開催期日 5月28日(木) 9:00～
 場所 銚田総合公園
 申込期日 5月15日(金)



●大洋地区大会●

申込先 市社会福祉協議会大洋支所 (34-5200)
 種目 輪投げ・グラウンドゴルフ
 開催期日 5月14日(水) 9:00～
 場所 大洋運動場
 種目 クロッケー・ペタンク
 申込期日 5月28日(木)
 開催期日 6月4日(水) 9:00～
 場所 銚田総合公園
 申込期日 5月7日(木)

■お問い合わせ先■ 社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 TEL:0291-32-5831

多くの善意を ありがとう

期間：1月11日～3月10日現在

善 意 金

●福祉一般へ預託

- ・ふるさとの会 10,000円
- ・茨城県立銚田第二高等学校 22,255円



- ・銚田地区民生委員児童委員協議会 3,634円

●福祉基金へ預託

- ・銚田市女性連絡協議会 62,326円



善 意 品

- ・山口やすさん お手玉100個
- ・杉崎一雄さん オムツ6袋、下着11枚
- ・野崎貴美子さん 割り箸
- ・大川賢司さん 尿取りパッド15袋
- ・河原完さん タオル44本、時計2、紙袋、介護用品1、老眼鏡25個
- ・石崎さつ江さん 未使用テレホンカード12枚
- ・田所飯金 下着、毛布、シーツ等
- ・匿名 書き損じはがき15枚

- ・匿名 タオル43本
- ・匿名 書き損じはがき222枚

「使用済み切手・ テレホンカード等」

- ・堤よしえさん
- ・飯島恵子さん
- ・浅沼敏子さん
- ・銚田舟木郵便局
- ・うえるさんて大洋
- ・巴地区女性会
- ・銚田市女性連絡協議会
- ・銚田市教育委員会
- ・銚田市役所 税務課
- ・匿名

長野県神城断層地震災害義援金

- 上島西小学校 11,014円
- 大竹小学校 11,660円
- 匿名 1,000円

保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「みんなで大きくジャンプ」

みんなで縄跳び頑張っています。友達と励まし合いながら頑張る気持ち、みんなの大きな力になっています。

銚田北幼稚園 ひまわり・ちゅうりっぷ組

(4歳児)

「気球」

サインペン・型抜きパンチ・折り紙を使って気球を作りました。個性豊かな気球に思い出をのせて、小学校へと巣立っていく子どもたち。たくさんの愛情と希望を胸に、夢に向かってはばたけ！

第一保育所 まつ組(5歳児)



手と手を つなぐ 地域づくり

(地域福祉活動推進事業)



社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。今回、その中から1地区を紹介いたします。

寄居区敬老会

(銚田地区寄居区)

毎年二月十一日に寄居区敬老会を開催しています。

今回は、社会福祉法人うえるさんて大洋(施設長寺西照雄)の健康漫談のお話を聞きました。内容は、老後をいきいきと楽しく過ごすためには、ウォーキングなど運動をし、筋肉をつけることが大事だということでした。笑いあり、実演ありの楽しい時間が過ぎました。

その後、食事をを行い、役員さんの心のもったお料理を食べながら、なかなか会えない仲間と話が弾みました。来年も元気に会いましょうと声をかけあい解散しました。

区長 小島 一男

※掲載地区を募集しておりますので、お気軽にお問合せください。



銚田市社協 ホームページのお知らせ

社協では、福祉に関する活動を市民の皆さまにより理解していただくためホームページを開設しています。ぜひ、閲覧してください。

URL <http://www.hokotashakyo.or.jp> (「銚田市社会福祉協議会」で検索できます。)